

第6章 推進体制と進行管理

戦略プログラムの着実な進行とその効果にあたっては、いわゆるPDCAサイクルの考え方に基づき、進行管理体制を構築し、定期的に計画の進行状況を確認するとともに、データ収集や調査により目標達成状況を確認し、必要に応じた計画・目標の見直し・提案を行っていくことが重要です。

そのためには、市民、交通事業者、行政がそれぞれの立場から施策事業に参画していくことが重要であり、そのような場として、「交通戦略推進協議会」を設け、PDCAサイクルに基づく、事業の進行管理を行います。

交通戦略推進協議会において事業を進行管理することで、行政はネットワーク型コンパクトシティを形成するために「目標とする交通環境」を整備する施策事業を積極的に実施、支援し、交通事業者は、ネットワーク型コンパクトシティの形成とともに自社の持続性向上につながる事業を積極的に実施し、市民は行政等に協力して積極的に公共交通を利用するよう進めることとし、以下のとおり各主体の役割分担を定めます。

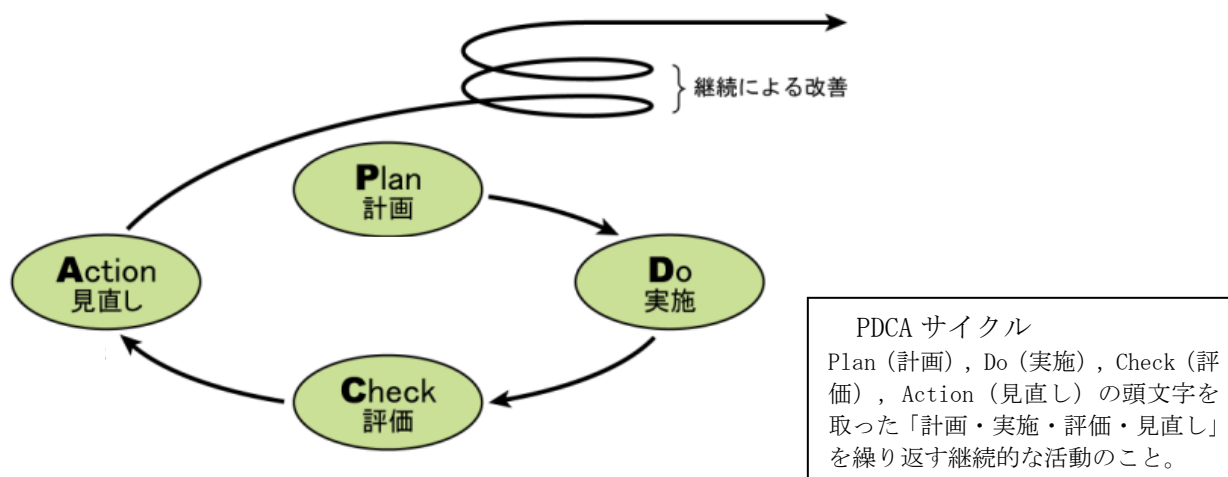


図 PDCAサイクルのイメージ

表 市民・交通事業者・行政の各主体の役割

	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用促進について理解と関心を深める バス・鉄道など公共交通を積極的に利用する 出来る限り、自家用車の利用を控えるよう努力する 施策事業への協力
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズに基づき、快適で適切な運行サービスの提供に努める 公共交通の利便性向上に努める 関係者に公共交通の利用促進につながる情報の提供を行う 施策事業の推進・協力
行政	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な公共交通体系を構築する まちづくりと一体となった、地域の実情に応じた交通計画を立てる 必要に応じて積極的にかつ効果的な支援を行う 公共交通利用促進に関する市民への意識啓発や情報提供を行う 施策事業の推進

[進行管理及び施策展開のイメージ]

